



かさひがし通信

～仲間とともに伸びる子 主体的に学ぶ子 いのち・人権を大切にする子～

<今月の巻頭言>

校長 松宮 孝明

「仕事への誇り ～ゴジラの中に入っただの仕事は俳優じゃない！と言われても～」

CG で作られたゴジラがアメリカで暴れ回るハリウッド映画『GODZILLA ゴジラ』。その60年前に公開された、第1作の映画『ゴジラ』は、CGではなくゴム製の着ぐるみが使われていたそうです。中に入って演じていた「スーツアクター」（着ぐるみに入って演技する俳優）が中島さん（87才）。東宝所属の俳優だった中島さんは1954年、上司から突然、“ゴジラという怪物の役をやれ”と言われてました。何を演じるのかまったくわからなかったけど、仕事を選び好みしない信条なので、よろしくお願ひしますと引き受けたとのこと。でも、当時はスーツアクターなんて格好いい言葉はなかった。中に入って演じるなんて俳優の仕事じゃないと陰口を叩かれることも多かったそうです。でも、ゴジラをゴジラらしく演じられる俳優は自分しかないと言われるようになろう、そう誇りを持ってやり続けられたそうです。

具体的には、撮影前、役作りのために東京・上野動物園に何度も行って観察されたそうです。ゴジラの歩き方は足の裏全体を地面に押しつけながら進むゾウの歩き方をまねしました。ほかに、クマの腕の使い方、ハゲタカの首の動かし方などもまねしましたとのこと。また、撮影が始まって、相当大変だったそうです。着ぐるみの重さは約100kg。ゴジラの足には下駄が入っていて、それを持ち上げて動かすんですが、ものすごく重い。きつい撮影の連続だったが、今でも中島さんが一番思い出すことは暑さだそうです。当時はエアコンはもちろん扇風機も珍しかった時代。中の温度は60℃に達したということです。1カット7秒の撮影が終わると休憩ですが、シャツをしぼると汗が滝のようにジャーっと出ました。ゴジラの中は自分の汗のにおいでいっぱい。中島さんは、1972年まで、12作品でゴジラを演じ続けられました。CG全盛になった現在でも中島さんのゴジラを賞賛する声は多いそうです。

この話を聞いて、当時さげすんだり、軽蔑したりした人が多かったにもかかわらず、必死で、誇りを持って仕事をし続けた中島さんを立派に思います。世の中には色々な仕事があり、どれも必要のないものなんてありません。それぞれ、誇りを持ってやっておられます。

笠縫東小学校6年生の皆さん、保護者の皆様、卒業おめでとうございませう。卒業生とご家族に、幸多かれと祈ります。今まで、この笠縫東小学校を盛りたて、ご支援ご尽力いただいたことに感謝します。これからは、笠縫東小を母校として大切に思ったださることを期待します。かさひがの子も将来、いろいろな仕事に就くわけですが、すべての職業に貴賤の差別はなく、それぞれが世の中の役に立っているということを理解して成長していったださるものです。

6年生ありがとう！ ～愛校活動～

3月に入って、6年生が廊下等をピカピカにしてくれました。愛校活動として、6年間お世話になった校舎にお礼の気持ちを込めて。そして、在校生は、それを見てこの伝統を受け継ぎます。



令和3年度（来年度の予定）

1学期 4月9日（金）～7月20日（火）
2学期 8月26日（木）～12月23日（木）
3学期 1月7日（金）～3月24日（木）
卒業式 3月18日（金）
運動会 10月2日（土）
東まつり 未定
6年修学旅行（仮）11月18日（木）～19日（金）
5年フローティング4/30（金）～5/1（土）
4年やまのこ森林学習5/20（木）・21（金）
（「やまのこ」は、宿泊ではありません）

4・5月の予定

☆始業式・入学式 4月9日（金）
☆給食開始 4月14日（水）
☆PTA役員選出会 4月20日（火）PM



※新型コロナウイルスの蔓延状況によって大きく変更になることがあることをご承知おきください。

笠縫東小：こころの教育コーナー

人生は楽しいと思ったら、そうなる

「人生の意味を決めるのは、自分自身だ！」

物事に意味を見いだすというのは、その物事と自分との関係を考えるということ。たとえば校庭に生えている木は、人間にとっては「木という植物」だけど、鳥にとっては「羽を休ませる巣」かもしれない。そう考えると、「人にとっての木」と「鳥にとっての木」は、意味が違うということになるんだ。アドラーは、人はどんな物事にも意味を見つける、意味を離れて生きることはできないと言っているんだ。たとえば、朝起きたら雨が降っていたとしよう。「雨でジトジトしていやな日だな」と思う人もいれば、「雨で花が水をたくさん吸収できるからいい日だな」と思う人もいる。「いやな日」「いい日」という意味づけは、人それぞれ違うんだね。つまり、人生の意味、世界の意味を決めるのはきみ自身なんだ。「幸せな人生」「楽しい人生」を生きようと思えば、きみの人生はそうなるんだよ。

（「超訳 こどもアドラーの言葉」 齋藤 孝 著より）